



鈴木 一夫 議員

新年度予算

新庁舎の年内完成



東部小学校増築校舎の空調設備の室外機
(ガス空調)

平成26年度は、新たな阿久比町建設の年であった。

こうした中、新年度も厳しい財政状況であると認識している。

問 国・県支出金の状況。国庫支出金は約8億3500万円、県支出金は約5億1500万円。

問 新年度予算の目玉。

答 庁舎棟の年内完成と事務所機能の移転、保育園や幼稚園の保育料の引き下げ、国民健康保険税の負担増の緩和など。

また小学校空調設備整備、トイレ改修事業を継続。

問 町長としてなさねばならぬことを為すとしたら、その内容、思いは。

答 新庁舎・多目的ホールの完成に全力を傾け、災害対策、循環バス、タクシー料金助成などを継続する。

町民が安全で安心して暮らせるまちづくりに努め、一つでも多くの要望が実現できるよう職務に励む。

セツトバックの現状

地権者の理解が必要

この件に関しては、以前にも質問したが、必要性を鑑み再度質問する。

問 現在までに適用された物件の件数、実績は。

答 平成25年度は買収1件、自己管理12件。

平成26年度は、買収3件、手続き中2件、寄附1件、自己管理7件。

問 本町の認定道路の延長は。

答 1級町道約5.0km、2級町道20.3km、一般町道約279.1km。

問 セツトバックの今後の課題は。

答 自己管理地が多く、買収には、地権者の理解が必要。

問 本町の要綱は、平成24年に作成されているが、その主な内容は。

答 要綱には、目的、適用の範囲、用語の定義、対象としない狭あい道路、手続き方法等が記載されている。

取り扱いは、買収、寄附及び自己管理の3種類で対応。



セツトバック前



セツトバック後